

第三次産業分野に係る動態統計の整備の目的・必要性(案)

統計整備の必要性

分散型の統計機構の下、多くの府省の所管にまたがる第三次産業（サービス産業）に関する統計は個々の業種ごとにいわばモザイク状に整備が行われている現状にある。

このような中で、QE（四半期別GDP速報）作成の基礎統計として、現在は一部の業種のみに限られている月次ベースの統計が第三次産業全体の動向を概括的に把握するものに拡充されることへの期待がとりわけ高いことが指摘されている。

このような状況を踏まえ、QEを始めとする各種経済指標の精度向上等幅広い観点から、第三次産業に係る動態統計が未整備の分野の存在を踏まえ、新たな動態統計調査の創設などにより、第三次産業全体の動向を明らかにする統計の整備を図ることが必要である。

統計の目的

第三次産業（サービス産業）全体の動向把握

QEを始めとする経済指標の精度向上等への寄与